

<脳血管内治療科>

一般（教育）目標

脳卒中の病態と、脳および脊髄血管疾患に対する血管内治療の適応、方法、周術期管理を理解する

（具体的）行動目標

- (1) 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の診断と初期治療ができる
- (2) 脳血管造影での兎径穿刺および基本カテーテル操作ができる
- (3) 脳動脈瘤、頸動脈狭窄、脳血管狭窄、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻に対する血管内治療の適応判断と、その助手および周術期管理ができる

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導の下に入院患者の診療を行う
- (2) 上級医の指導の下に脳血管造影を施行する
- (3) 脳血管内治療に助手として参加する

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) カンファレンスで症例を呈示する
- (2) 上級医の指導により開催される勉強会に出席する
- (3) 興味を持った症例に関し、上級医の指導の下に自己学習する

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前 1	抄読会	カンファレンス		抄読会	カンファレンス
午前 2	手術	検査	検査（手術）	検査	手術
午後 1	手術 回診		検査		カンファレンス
午後 2			脳卒中カンファ レンス(第 1, 3)		

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること